

モノ好きたちの趣味暮らし

1160042 ○加藤 成恵*

15.設計
放置ゴルフ場 99.その他
趣味

1.はじめに

「放置ゴルフ場」は日本に多く点在し、それらの多くは消滅可能都市にある。また、現代に生きる人々は、一日の大半を会社で過ごす生活を送る。この現状から若者を中心に「自分の時間」を大切にするような生活形態の変化がみられるようになった。

2.人の手を離れたゴルフ場の危険

ゴルフ場は管理がされなければその給排水管のつまりから、山裾の居住地区に土石流などの自然災害を及ぼす可能性がある。また、産業廃棄物などの不法投棄で環境汚染の可能性も否定できない。



図 1-1.ゴルフ場に放置されたごみと災害発生の事例

3. 計画地

対象敷地として選んだのは、岡山県津山市にある潰れたゴルフ場。JR 津山駅から直線距離で約 5km の場所に位置し、山裾には学校や病院などの生活基盤が整っている。ゴルフ場全体の中から今回は赤線で囲まれた敷地を対象敷地とする。敷地面積は約 8.7ha である。



4.設計

4-1.設計方針

1 Monozukitatinosyumigurashi 加藤 成恵

2

3

雑貨やインテリア、食べ物にいたる「モノ」にこだわりのある「モノ好き」たちの、仕事とプライベートの時間のバランスをとれるような生活スタイルとそのため空間を、放置ゴルフ場を用いて提案。

4-2.設計コンセプト

一度生活空間のサイズダウンを行い、「モノ好き」の趣味に合わせた最小の空間に再構築し、コンパクトな生活を目指す。趣味と生活に焦点をあて「小さな家で豊かに暮らす」ところをコンセプトとして設計を行う。

4-3.居住対象者と果樹園

対象となるのは趣味を極め、将来的にその極めた趣味で生計を立てていきたいモノ好きたち。また、敷地内で生計を立てていくためにモノ好きたちは 1 人 1ha の果樹園の経営を並行して行う。

4-4.豊かな生活

この作品で呼ぶ「豊か」とは、「環境の豊か」と「時間の豊か」の 2 パターンを言う。環境の豊かとは、田舎に住むことで自然と触れ合うことができる。また、時間の豊かとは、掃除や通勤時間などの無駄な時間から解放されることである。

4-5.全体計画

全体計画として、「小さな家」と「大きな家」と「果樹園」を繋ぎ、外部からの人をお客さんとして敷地内にいれていく。



図 4-1.敷地内の建物配置図

5.小さな家

5-1.空間同士のつなぎ方

住宅部分となる「生活の間」に、モノ好きの趣味のためだけの棟「趣味の間」を付属させたものを一棟とする。「趣味の間」と「生活の間」のつなぎ方と、屋根の勾配を変えることで外観のバリエーションを増やしていく。「生活の間」と「趣味の間」のつなぎ方は、
①屋根は切らずに棟だけを離す②屋根を切り、藤棚でつなぐ、③屋根を切り、空中通路でつなぐ、の3つに限り、Type-A～Cにあわせて延床面積を全戸 60㎡以下に抑えた間取りを考える。

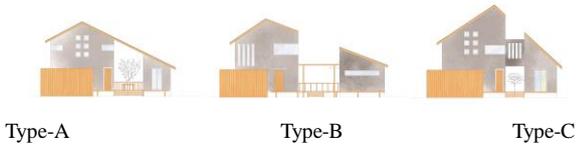


図 5-1.タイプ別南側立面図

5-2.モノ好きのための「趣味の間」

汚れや匂い、音などを気にせずモノづくりに集中できるように「趣味の間」を「生活の間」とは別に作る。作業場と同時に店舗や展示スペースを設ける。「趣味の間」の大きさはモノ好きたちの趣味に用いる機材にあわせて自由に大きさを決めることができる。

5-2-1.Type-Aに住むAさんの場合

陶芸が好きなAさんは、作業場兼展示スペース兼釜場がそろった「趣味の間」を作ら上げた。



図 5-2.陶芸家の趣味の間

5-2-2.Type-Bに住むBさんの場合

洋菓子作りが好きなBさんは、厨房が見えるケーキ屋を「趣味の間」として作った。



図 5-3.パティシエの趣味の間

5-2-3.Type-Cに住むCさんの場合

手芸が得意なCさんは、吹き抜け付きの作業場兼店舗を「趣味の間」としてつくりあげ作業をしても人の気配を感じられるようにした。



図 5-3.手芸作家の趣味の間

6.大きな家

モノ好きたちの作ったものを外部へ発信していくための共有施設。施設内のカフェには作品の展示スペースを設置し、どこ家の誰がどんな作品を作っているのか一目でわかる。また、カフェの大きな机ではワークショップや商談を行う。販売所では日常的に使う農具や土のほかに、苗や花といったものを販売していく。駐車場は敷地内移動用の「ILY-A」と「COMS」の充電器を置いた充電スペースとなっている。



図 6-1.カフェ内の様子(左:展示スペース、右:ワークショップ)



図 6-2.販売所の様子

図 6-3.駐車場の様子

7.敷地内の移動方法

敷地内は緩やかな勾配があり、距離もあるので敷地内の移動方法として完全充電式の「ILY-A」と「COMS」を使用する。ILY-Aは4形態に変化し、日常的に敷地を移動する方法として用い、COMSは街への買い物など荷物が多いときに使用する。